

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見及びご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	3		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数が少ない中努力されていると思う。</li> <li>・職員配置数が少ないと感じる。</li> <li>・一人の職員が抱える子供の数が多く、心配。</li> <li>・丁寧にみるには少ない配置数だと思う。努力はしてくれており感謝している。</li> </ul> ⇒職員の配置基準は満たしている。限られた職員体制の中で、より安全で丁寧な保育ができるよう、環境の配慮や活動の工夫を行っていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭側にスロープがない。</li> <li>・ないけれどわが子には必要ない。</li> </ul> ⇒必要に応じた段差を積極的に利用し、子どもの危機管理能力の向上につなげている。環境への配慮は、一人一人の発達や特性に合わせて検討をしている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	2		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13			・たくさんある。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親から職員に話しかければ伝わるが、聞かないと伝えあえない現状があると感じる。</li> </ul> ⇒どの保護者の方とも定期的に情報共有を行っていく意識を職員が持てるよう指導していく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんある。</li> <li>・話をする機会が面談に限られてしまいがち。</li> <li>・親支援がされていても理解の弱さがあると本当の支援に結びつかないことがあるのでは。</li> </ul> ⇒保護者の状況やニーズに合わせた親支援の工夫を検討していく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所主催の学習会等があったが、保護者同士の連携の支援は少ないのでは。親自身もいっぱい身動きが取れなかった。</li> </ul> ⇒少人数での茶話会など親同士が話しやすい場を増やしていけるとよい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2		・苦情申立をしたことがないのでわからない。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝わり切れていない部分があり困ることがある。</li> </ul> ⇒連絡がやや遅くなったり、保護者にとって伝わりにくい部分があった。連絡の仕方を見直していく。
	14 個人情報に十分注意しているか	12	1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見及びご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	3		・年度が変わる毎に周知があるとより良いと思う。 ⇒契約更新時等に説明をしていくようにする。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2		・何かあったかわからない。 ⇒1年に1回避難訓練を行っている。保護者に避難訓練実施の報告をしていなかったため、今後報告を行うようにする。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	3		・「行きたくない」というが、来れば楽しんでいる様子。 ・子どもに聞くといつも「普通」という返事。 ・本当にありがたいです。
	18	事業所の支援に満足しているか	10	3		・情報共有が少ないと感じる。 ・支援員の負担が大きいので気を遣う。大変過ぎて人材の確保に困るようなことがないよう運営を考えてほしい。 ⇒人材の確保は常に課題である。人材の確保と共に、限られた人材の中で、利用者の方に満足していただけるよう、職員の配慮と活動の工夫が必要である。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。